

熊本大学海外派遣留学生 報告書

記入日： 2023 年 2 月 9 日

留学開始時学年	大学院 2 年次		
学部/教育部	社会文化科学教育部博士前期課程	学科/専攻	文化学専攻
留学先機関名	リーズ大学	国・地域名	イギリス
留学先所属	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属 (学部・研究科) <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2022 年 9 月 ~ 2023 年 1 月		
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ!留学JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他：		

1. 留学費用 (日本円)

授業料 (留学先)					円
語学研修費					円
教材費					円
ビザ申請費					円
渡航費	20万				円
海外旅行保険料					円
宿舍費	家賃	約50万	円	デポジット	4万 円
生活費	光熱費		円 / 月		円 / 年
	食費		円 / 月		円 / 年
	通信費		円 / 月		円 / 年
	交通費		円 / 月		円 / 年
その他	(費)				円
その他	(費)				円
その他	(費)				円
合計	100万				円

2. 渡航前準備について

留学に向けて取り組んだ語学	
言語	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他： 語
受験した語学能力試験	<input checked="" type="checkbox"/> IELTS <input type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input type="checkbox"/> その他：
勉強方法	過去問を解く
留学先の手続き	
必要書類	<input type="checkbox"/> 語学能力証明書 (語) <input type="checkbox"/> 健康診断書 <input type="checkbox"/> パスポートの写し <input type="checkbox"/> その他：
大変だったこと、どのように取り組んだか等	

3. ビザ・入国時に必要な手続きについて

ビザ申請			
有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	種類	
申請先	場所： <input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地	手続きに 要した期間	
手続きの流れ			
必要書類	<input type="checkbox"/> 入学証明書 <input type="checkbox"/> 残高証明書（金額： ） <input type="checkbox"/> 保険証 <input type="checkbox"/> パスポート <input type="checkbox"/> 語学能力証明書 <input type="checkbox"/> その他：		
ビザ申請以外で入国時に必要な手続き			

4. 渡航関連

利用航空会社	経由地	
往路： 復路：	往路： 復路：	
手配（利用したサイト、旅行会社等）	旅程	
スカイチケットで安い時期や便を探しました。	出発日時	月 日
	到着日時	月 日

5. 住居について

住居について			
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他：	部屋の形態	<input type="checkbox"/> 1人部屋 <input type="checkbox"/> 相部屋（ 人） <input checked="" type="checkbox"/> その他：en-suitでキッチン共有でし
同居人	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの学生	住居手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で <input type="checkbox"/> その他：
住居の申込 手順・方法	大学が決まった後に、寮の申し込みのサイトから探しました。		
住居に関する アドバイス (寮の雰囲気、トラブル および解決方法等)	私は、トイレとシャワールームは、どれだけ高くても共有は嫌だったのでそうしました。日本人以外はそんなに汚いのを気にしない人が多いため、トイレ共有はおすすめしません。でも、キッチンシェアはとても楽しく毎日パーティーみたいでとてもおすすめです！		
大学への交通手段	<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他：	通学時間	時間 分

8. 留学に関するタイムチャート (留学するまでの準備)

2019年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	
2020年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	
2021年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	
2022年 1月～3月	
4月～6月	留学準備開始～
7月～9月	
10月～12月	

9. 1週間のスケジュールについて (授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
午前							
	授業	論文	論文	ゼミ (修士論文)			
午後		論文	論文		韓国語勉強		
		論文	論文		韓国語勉強		
夕刻		論文	論文		韓国語勉強		
夜							

10. 留学成果とアドバイス

留学しようと決めた理由
もともと学生時代に1年間イギリスに留学していました。大学院になって、社会人になる前にもう一度英語の環境に触れ、刺激を得たいと思いました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備
留学先を選んだ理由
イギリスはとても穏やかで人も日本人と似ているところも多く、またイギリス人の友達がいたからです。
交友関係
ともだちは寮や授業で作りました。寮はイギリス人だけではなく、いろいろな国からきているのでグローバル環境に身を置くチャンスだと思います！
困ったこと、大変だったこと
留学は環境も変わるため大変ですが、あまり困ったことはありません。
学習内容・勉強について
私は大学院生で修士論文があり授業を1個しか取っていませんでした。そのため修士論文のゼミと韓国語の授業をしていました。内容的に少なく感じますが、半年で韓国語の語学習得と修士論文執筆なので意外と忙しく大変でした。
課題・試験について
試験はタームの最後にありました。課題は毎回あり、友達とセッションしながら一緒にやっていました。
留学を通しての感想（留学を希望する人へアドバイス等あれば）
留学に少しでも行きたい気持ちがあるなら行ってみるべきです！海外はあうあわないがありますが、そもそも留学に興味がある時点で、あわなくても必ず一つははっけんがあります。とても刺激的で楽しいです。メンタル的にも強くなると思います。

11. 卒業後の進路について

卒業後の進路について			
進路			
<input checked="" type="checkbox"/> 就職	<input type="checkbox"/> 進学	<input type="checkbox"/> 未定	<input type="checkbox"/> その他：
いつ頃から就職活動を行いますか？			
教育採用試験を8月に受験しました。			
就職活動に関して、留学希望者に何かアドバイスがあればご記入ください。			

11. 履修した科目について（スペースが足りない場合は各自コピーして追加してください。）

履修した授業科目名			
使用言語	English/ Korean	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科			
単位数	20		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態			
授業時間数	15		
担当教授			
授業内容	003 Beginners Korean		
試験・課題など	有り		
感想など	とても実務的で効果的に韓国語を習得できると思います。		

熊本大学海外派遣留学生 報告書

記入日： 2023 年 7 月 5 日

留学開始時学年	3 年次		
学部/教育部	文学部	学科/専攻	コミュニケーション情報学科
留学先機関名	リーズ大学	国・地域名	イギリス
留学先所属	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属（ 学部・研究科） <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2022 年 06 月 26 日 ~ 2023 年 06 月 13 日		
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ！留学JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他：		

1. 留学費用（日本円）

授業料（留学先）					円
語学研修費					円
教材費	5000				円
ビザ申請費	9万6000				円
渡航費	33万				円
海外旅行保険料	12万				円
宿舍費	家賃	9万円/月	円	デポジット	5千円 円
生活費	光熱費	9万円（家賃に含まれる）	/ 月	108万	円 / 年
	食費	2万	円 / 月	24万	円 / 年
	通信費	700	円 / 月	9400	円 / 年
	交通費	3400	円 / 月	4万8000	円 / 年
その他	（ 交際 費）				24万 円
その他	（ 費）				円
その他	（ 費）				円
合計					192万 円

2. 渡航前準備について

留学に向けて取り組んだ語学	
言語	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他： 語
受験した語学能力試験	<input checked="" type="checkbox"/> IELTS <input type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input type="checkbox"/> その他：
勉強方法	1年生の頃から毎週末、英会話やIELTS対策をプライベート講師のもとで対策を行っていた。その他はちょっとした隙間時間に単語を暗記(覚えた単語で文章を作る等)。
留学先の手続き	
必要書類	<input checked="" type="checkbox"/> 語学能力証明書（ 英 語） <input type="checkbox"/> 健康診断書 <input checked="" type="checkbox"/> パスポートの写し <input type="checkbox"/> その他：VISA、履修登録、寮の申請
大変だったこと、どのように取り組んだか等	特にVISA申請には細心の注意を払う必要があった。そのため私は留学エージェントにVISA申請を依頼した。依頼したとしても、必要書類の準備など申請前からやるべきことが沢山ある為、準備には1カ月~2か月以上かかることもある為、早めに行動することが必要。

3. ビザ・入国時に必要な手続きについて

ビザ申請			
有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	種類	学生ビザ
申請先	<input checked="" type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所： 大阪	手続きに 要した期間	1カ月～2か月
手続きの流れ	ネットで個人情報や大学情報等の細かい申請を行い、その後大阪のVISAセンターへ行く。郵便でパスポートにシールが貼られるため、それがあればクリア。		
必要書類	<input checked="" type="checkbox"/> 入学証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 残高証明書（金額： ） <input type="checkbox"/> 保険証 <input checked="" type="checkbox"/> パスポート <input checked="" type="checkbox"/> 語学能力証明書 <input type="checkbox"/> その他：		
ビザ申請以外で入国時に必要な手続き			
イギリスに到着後、BRPカード(イギリス国内で必要になるID)を取りに行かなければならない。VISA申請の際に登録した住居予定の場所から近い郵便局で受け取ることが多い。基本イギリスに到着後2週間以内で取りに行かなければならない。その際は、VISA申請が通った際にもらう書類とパスポートを持参していく。			

4. 渡航関連

利用航空会社	経由地				
往路：JAL 復路：JAL	往路：熊本→羽田→ヒースロー空港 復路：ヒースロー空港→羽田→熊本				
手配（利用したサイト、旅行会社等）	旅程				
エージェントを利用	<table border="1"> <tr> <td>出発日時</td> <td>6月 25 日</td> </tr> <tr> <td>到着日時</td> <td>6月 26 日</td> </tr> </table>	出発日時	6月 25 日	到着日時	6月 26 日
出発日時	6月 25 日				
到着日時	6月 26 日				

5. 住居について

住居について			
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他：	部屋の形態	<input type="checkbox"/> 1人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋（ 4 人） <input type="checkbox"/> その他：
同居人	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの学生	住居手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で <input type="checkbox"/> その他：
住居の申込 手順・方法	大学寮の専用サイトから登録し、寮を選択。選択した寮ではない寮が選ばれる可能性もある為、そこは妥協する部分と譲れない部分で折り合いを付けつつ、寮を選択する必要がある。		
住居に関する アドバイス (寮の雰囲気、トラブル および解決方法等)	フラットメイトによってはキッチンを使い方や騒音がひどい場合がある。また、シャワーが冷水しか出ない、電気がつかないといったトラブルは必ず発生するため、それらのトラブルを相談できる場所は事前に確認しておく必要がある。基本寮にはそういったトラブルの際の連絡先が掲示されている為、要確認。		
大学への交通手段	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他：	通学時間	(私は寮を3変更した) 1回目は30分。2回目3回目は10分程度

7. 留学先機関について

履修登録	
時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 (5 月頃) <input checked="" type="checkbox"/> 渡航後 (10 月頃)
方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> 志願書類の提出 <input type="checkbox"/> その他:
留学生特例措置 (有りの場合、詳細をご記入ください)	
履修制限	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り (100 creditから120 creditまでの履修登録が一般的。)
優先措置	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り ()
オリエンテーション (留学生専用)	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り (日本人だけのオリエンテーションがあり、そこで詳しい説明を受ける)
チューター制度	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り (履修の事や私生活のことを相談できる)
その他	
留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/住居・日常生活等)	
語学面ではLanguage Centreといった英語を第2言語として話す人のためのサポート体制が整っている。学校生活に関しても、困ったことがあれば、報告や相談をすることを忘れてはいけない。基本みんなが抱えている悩みは、これまでの人たちも経験している為、大学側も対応策は用意している。特に住む場所である寮に関しては、何かあれば遠慮なくすぐ相談したほうがよい。	
留学開始後に行った留学先大学の手続き	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生証発行 <input type="checkbox"/> 履修登録 <input type="checkbox"/> 大学IDの設定 <input type="checkbox"/> その他	
手続きの手順	
メールで個人情報を登録するフォームが届く。それを記入後、学生証・ID発行が可能。個人情報記入には期限がある為、メールをきちんと確認する必要がある。その後メールで学生証の受け取りメールが届き、Ziff Buildingへ取りに行く。しかし、どうしても受け取りのメールが届かない場合は、直接Ziff Buildingに行き事情を説明すれば、その場で学生証を発行してくれる。その際、個人情報の記入が完了していることと、パスポートを持っていく必要がある。	
大学・学生の雰囲気	
図書館も3つあり校内も広く、よく散歩した。赤レンガの建物やお城のような建物もあるため、歴史を感じることができる。授業は様々な教室で行われ、校内も広いため事前に確認しておく必要がある。しかしタイムテーブルには教室の場所が分かるようになっている為、安心してよい。	
授業外活動について (サークル、部活、インターン、フィールドワーク等) ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に	
リーズ大学の公式サイトには、毎日何のイベントが行われているか載っているため、それを参考にイベントに参加していた。またインスタグラム等のSNSアカウントからも情報収集が可能である。私は特定のサークルには所属せず、様々なサークル等に参加し、交流の幅を広げるようにしていた。「テイラー・スウィフトソサエティ」といった面白いサークルもある為、新歓等には参加すると面白い。	

8. 留学に関するタイムチャート (留学するまでの準備)

2019年 1月～3月	・カナダ留学中
4月～6月	・帰国
7月～9月	・熊大の受験勉強 (受験勉強で、海外の方とスピーキング練習)
10月～12月	〃
2020年 1月～3月	・入学まで単語等の勉強に注力
4月～6月	・4月熊大入学 ・毎週末に個別英会話スクールで英語力キープ&向上
7月～9月	・毎週末に個別英会話スクールで英語力キープ&向上
10月～12月	〃
2021年 1月～3月	〃
4月～6月	〃
7月～9月	・9月にモンタナ州大学のオンラインプログラムに参加
10月～12月	・10月に交換留学に申し込み ・12月に交換留学が決まる
2022年 1月～3月	・English Talkmon等に参加、隙間時間に単語勉強
4月～6月	6月、出発
7月～9月	
10月～12月	

9. 1週間のスケジュールについて (授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
午前		授業		授業			
午後		授業					
				授業	異文化交流		
夕刻	異文化交流会	異文化交流会		図書館	〃	映画	友達とご飯等
夜	図書館	〃		〃			

10. 留学成果とアドバイス

留学しようと決めた理由
このイギリスの留学前にカナダに長期留学をした。その際にもっと世界を見てみたいと思い、この交換留学を決意した。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備
単語力が留学中には必要になると思い、単語を覚えることは特に力を入れた。スピーキングは「独り言」は効果的だと思う。後悔している点は、イギリス英語に耳をもっと慣らしたうえで渡英すべきだった点。
留学先を選んだ理由
カナダの他にもフィリピンといった国にも留学したことがあったため、今回はヨーロッパに行きたいと考えた。さらにアメリカ英語には親しみがあつたが、イギリス英語には不慣れなところがあつた。これらの理由からイギリスを選択した。リーズ大学を選択した理由は、留学生も多いことから、それだけ多くの価値観を得られると考えたから。
交友関係
日本出身ということは海外の人と友達になるうえでメリットとして働くことが多かった。日本に興味を持っている人、日本語を話すことができる人というのは想像している以上にいる為、交友関係を築く際に役に立つ。海外の人は積極的にご飯等に誘ってくるため、無理な際は、はっきり伝えることが大切。
困ったこと、大変だったこと
困ったことは、環境に慣れることだ。イギリスに到着してすぐに、環境に慣れていないせいか、のどを壊してしまい大変だった。日本から持ってきた薬も飲んで症状を抑えていた。他にも夏休みにフランス、イタリア、スイス等を旅行したが、その際も少し体調を崩した。しかし一番きつかった点はたばこのにおいだ。イギリスやリーズは喫煙者が多く、至る所でたばこのにおいがした。私は喘息持ちのため、たばこのにおいがした時やたばこを吸っている人が通りかかる際は息を止めていた。
学習内容・勉強について
授業の形式はLectureとSeminarと2種類あつた。Lectureは一般的な授業形式だが、Seminarは先生と生徒同士のディスカッションだったため、準備が欠かせなかつた。内容も量も複雑だったため、よく図書館に行き勉強していた。私が主に専攻していた内容は異文化についてのことだったため、時として内容の濃いディスカッションになり、大変勉強になった。
課題・試験について
試験に関しては、熊本大学が行うようなレポートやプレゼン、オンラインテストといった、やることは似ている。しかしその内容は複雑で準備や見直しに予想以上の時間がかかる。レポート（エッセイ）を最終課題で出された際は、資料集めや構成を考える時間を含めて期限の1週間から2週間前からとりかかり、計画的に進めていた。課題も、授業前に読むべきReadingが多くあるため私生活との両立が大変で、慣れるまで時間がかかつた。
留学を通しての感想（留学を希望する人へアドバイス等あれば）
留学は自分との戦いだと思う。様々な視野を広げることができですが、同時に自分が未熟者だと気づかされ、悩む日もあつた。しかし自分のペースでゆっくりでいいので、時に休みつつ、息抜きをしながら生活していくことが大切だと思う。留学中「日本はイギリス（もしくはほかの国）と比べて〇〇」と、日本を悲観的に捉えることも多いと思う。しかし「日本は日本で素晴らしいところもあり、海外は海外で素晴らしいところもある」といったように捉えるようにすると、新たな視点が見えてくることが多い。

11. 卒業後の進路について

卒業後の進路について			
進路			
<input checked="" type="checkbox"/> 就職	<input type="checkbox"/> 進学	<input type="checkbox"/> 未定	<input type="checkbox"/> その他：
いつ頃から就職活動を行いますか？			
留学で現地にいる時から、情報は収集していた。本格的に初めたのは帰国後から。			
就職活動に関して、留学希望者に何かアドバイスがあればご記入ください。			
留学中に就活を同時並行でやる方もいると思いますが、無理はしないように。			

11. 履修した科目について（スペースが足りない場合は各自コピーして追加してください。）

履修した授業科目名			
Introduction to Film Studies I			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Film Study		
単位数	20 credits		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	Lecture & Seminar		
授業時間数	20時間		
担当教授	Dr. Mani King Sharpe		
授業内容	時代や技術の進歩で映画の撮影やスタイルがどのように変化していったか		
試験・課題など	エッセイ（1500字）とオンラインクイズ		
感想など	撮影方法や映画に関する様々な語句を知り、それらの知識を持って映画鑑賞することができると感じた。		

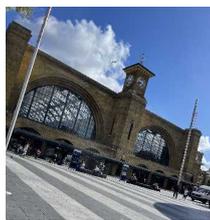
履修した授業科目名			
Introduction to Film Studies II			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Film Study		
単位数	20 credits		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	Lecture & Seminar		
授業時間数	20時間		
担当教授	Dr. Rhys Jones		
授業内容	映画産業における「作家」、「ポピュラー映画とジャンル」、「産業」について		
試験・課題など	エッセイ（2000字）とオンラインクイズ		
感想など	ターミネーターや韓国映画といったブロックバスター映画について更なる理解を深められた		

履修した授業科目名			
Intercultural Competence: Theory and Application			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	School of Modern Languages and Cultures		
単位数	20 credits		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	Lecture & Seminar		
授業時間数	20時間		
担当教授	Dr Pier Pischedda		
授業内容	文化の違い、異文化間リーダーシップや翻訳、異文化間の礼儀正しさ、多言語主義の課題		
試験・課題など	エッセイ2つ（2000字と1400字）		
感想など	実践的な異文化の知識について学ぶことが出来た。特に異文化ビジネスに関しては興味深かった。		

履修した授業科目名			
Politics, Culture and Society			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	School of Modern Languages and Cultures		
単位数	20 credits		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	Lecture & Seminar		
授業時間数	19時間		
担当教授	Dr Sarah Waters		
授業内容	今日の世界における政治の実践を支える考え方や概念の基礎。		
試験・課題など	エッセイ2つ（1000字&1500字）		
感想など	キング牧師の演説を真似して、惹きつけられるような演説を作る授業は印象に残っている。		

履修した授業科目名			
Discourse, Culture and Identity			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	School of Modern Languages and Cultures		
単位数	20 credits		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	Lecture & Seminar		
授業時間数	20時間		
担当教授	Dr Bethan Davies		
授業内容	文化、国家、アイデンティティ、グローバリゼーション、言語といった概念を言語学から見た。		
試験・課題など	プレゼン（15分）、エッセイ2つ（1500字×2）		
感想など	私は映画が好きなため、グローバル化における翻訳の授業は特に惹かれた。		

写真



熊本大学海外派遣留学生 報告書

記入日： 2023 年 8 月 31 日

留学開始時学年	2 年次		
学部/教育部	法学部	学科/専攻	法学科
留学先機関名	リーズ大学	国・地域名	イギリス
留学先所属	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属（ 学部・研究科） <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2022 年 9 月 18 日 ～ 2023 年 6 月 27 日		
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ！留学JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他：		

1. 留学費用（日本円）

授業料（留学先）	430,000		円
語学研修費	0		円
教材費	0		円
ビザ申請費	32,800		円
渡航費	530,000		円
海外旅行保険料	84,660		円
宿舎費	家賃	886,000 円	デポジット 34,200 円
生活費	光熱費	0 円 / 月	円 / 年
	食費	20,000 円 / 月	円 / 年
	通信費	2,470 円 / 月	円 / 年
	交通費	1,000 円 / 月	円 / 年
その他	（ 費）		円
その他	（ 費）		円
その他	（ 費）		円
合計	1997660		円

2. 渡航前準備について

留学に向けて取り組んだ語学	
言語	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他： 語
受験した語学能力試験	<input checked="" type="checkbox"/> IELTS <input type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input type="checkbox"/> その他：
勉強方法	大学で行われているIELTSの講座を受講し、ライティングとスピーキングの練習を行いました。またリスニングに関しては、BBC Learning English やTEDをポッドキャストやYouTube を通して聴くことで、対策を行いました。
留学先の手続き	
必要書類	<input checked="" type="checkbox"/> 語学能力証明書（ 英語） <input type="checkbox"/> 健康診断書 <input checked="" type="checkbox"/> パスポートの写し <input type="checkbox"/> その他：
大変だったこと、どのように取り組んだか等	3月末までに提出しなければならない書類が多かったため、その期日までに書類作成を行うのが大変でした。

3. ビザ・入国時に必要な手続きについて

ビザ申請			
有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	種類	学生ビザ
申請先	<input checked="" type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所： 大阪ビザ申請センター	手続きに 要した期間	約1か月
手続きの流れ	必要書類を事前にアップロードし、ビザ申請センターでは申請書類の提出と生体認証情報を登録しました。 スタッフの方と英語で話すことはなかったです。		
必要書類	<input checked="" type="checkbox"/> 入学証明書 <input type="checkbox"/> 残高証明書（金額： ） <input type="checkbox"/> 保険証 <input checked="" type="checkbox"/> パスポート <input checked="" type="checkbox"/> 語学能力証明書 <input type="checkbox"/> その他：		
ビザ申請以外で入国時に必要な手続き			
特になし			

4. 渡航関連

利用航空会社	経由地	
往路：JAL 復路：エミレーツ航空	往路： 復路：ドバイ	
手配（利用したサイト、旅行会社等）	旅程	
JAL、エミレーツ航空公式サイト	出発日時	9月 17 日
	到着日時	6月 30 日

5. 住居について

住居について			
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他：	部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 1人部屋 <input type="checkbox"/> 相部屋（ 人） <input type="checkbox"/> その他：
同居人	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの学生	住居手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で <input type="checkbox"/> その他：
住居の申込 手順・方法	大学の寮のサイトから住居の申込を行える。居住先が確定したら、期日までにデポジットを払わなければなりません。		
住居に関する アドバイス (寮の雰囲気、トラブル および解決方法等)	私はMontague Burtonという寮に住んでいました。大学から徒歩10分程の場所にあり、キッチンに洗濯機と乾燥機が設置されているためとても便利です。大人数でシェアするのはトラブルが増えて大変なので、フラットメイトは少人数にすることをおすすめします。騒音のトラブルや寮内の備品に関する対処は、寮の受付にいるスタッフに直接相談したり、寮の管理人にメールや電話で問い合わせできます。		
大学への交通手段	<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他：	通学時間	10 分

6. 現地情報・その他生活に関するアドバイス

現地での資金調達について（現地銀行口座の開設、クレジットカードの利用について等）	
私は現地銀行口座を開設しました。友達とお金のやり取りをする上で、現地の口座を作っておくと便利です。MONZOという銀行口座は開設が書類なしで行えるので、口座を早く開設したい人におすすめです。現地ではほとんどの支払いに日本から持ってきたクレジットカードを使っていました。	
保険について	
海外旅行保険	<input checked="" type="checkbox"/> 国内で加入 <input type="checkbox"/> 現地のものに加入
現地で加入を求められる保険	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり：
携帯電話・インターネットについて	
携帯電話について (SIMカードの購入について等)	現地に到着してからSIMカードを購入しました。
インターネットについて (ネット環境、Wi-Fiについて等)	学内や寮のWi-Fiは無料で使えます。
相談窓口について	
有無	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 学内（担当： LCS Student Office ） <input type="checkbox"/> 学外（機関名： ）
問題があったときに 誰に相談したか	
病院について	
<input checked="" type="checkbox"/> 利用しなかった <input type="checkbox"/> 利用した：	
現地では調達できない日本から持って行くべきもの	
文房具は現地で調達できますが、値段がかなり高く機能性も劣っているため、日本から持っていくことをおすすめします。	

7. 留学先機関について

履修登録	
時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前（ 5 月頃） <input checked="" type="checkbox"/> 渡航後（ 10 月頃）
方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> 志願書類の提出 <input type="checkbox"/> その他：
留学生特例措置（有りの場合、詳細をご記入ください）	
履修制限	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り（ 希望すれば、履修単位数を110creditに変更できます ）
優先措置	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
オリエンテーション (留学生専用)	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り（ 9月に日本人留学生向けのオリエンテーションがあります ）
チューター制度	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り（ アカデミックチューターが、履修登録や学校生活の相談に乗ってくれます ）
その他	
留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/住居・日常生活等)	
語学面に関しては、授業課題として課されるエッセイの書き方についての講座が学内で開催されています。またLanguage Exchangeという取り組みもあり、語学を学生同士で教え合うことで自分の語学力アップに繋がると共に、友達の輪も広がるのでおすすめです。	
留学開始後に行った留学先大学の手続き	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生証発行 <input checked="" type="checkbox"/> 履修登録 <input checked="" type="checkbox"/> 大学IDの設定 <input type="checkbox"/> その他	
手続きの手順	
学生証発行は、学内のStudent Officeで行えます。履修登録に関しては授業が始まってから2週間以内であれば無料で修正できます。しかし、その期限を過ぎると履修変更にお金がかかるので注意してください。	
大学・学生の雰囲気	
留学生が多くグローバルな環境なので、色々な国の人と交流できます。また学生数自体も多いため、学内のイベントなどは非常に賑やかです。	
授業外活動について（サークル、部活、インターン、フィールドワーク等） ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に	
私はバレーボールのサークルに所属していました。このサークルは、9月に行われる新入生を対象にしたサークル紹介を通して知りました。	

8. 留学に関するタイムチャート (留学するまでの準備)

2019年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	
2020年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	
2021年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	IELTS講座の受講、IELTS受験
2022年 1月～3月	大学に必要書類を提出
4月～6月	履修登録、寮の申請
7月～9月	ビザの申請
10月～12月	

9. 1週間のスケジュールについて (授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
午前							
	授業		授業		授業		
午後	自学		自学	授業	自学	友達とおでかけ	
		授業		自学			
夕刻		自学					サークル活動
夜		イベントに参加	イベントに参加				

10. 留学成果とアドバイス

留学しようと決めた理由
留学した理由は2つあります。1つ目は、様々な国の人と接したり海外で生活することで、異文化理解を深めたいと思ったからです。2つ目は、海外の人の視点に立って日本を見つめ直したいと思ったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備
留学をするにあたって、語学力の向上を図り、日本の文化などについての知識を増やしました。しておけばよかったことは、スピーキングのスキルをもっと上達させることと、日本の社会問題について学んでおくことです。スピーキングは、留学に長期間行ったからといって必然的に上達するものではないと思っています。留学前にネイティブの知り合いや友達を作って、スピーキングに関するアドバイスをもらうのが上達の近道だと思います。スピーキング力が向上すると、留学先でのコミュニティが広がり、留学生活がより楽しくなります。また、日本のことについて海外の人から尋ねられることが多いです。特に社会問題については、関心を持って調べておくことをおすすめします。
留学先を選んだ理由
2つあって、1つ目はヨーロッパの文化に興味があり、英語圏の国に留学に行きたかったからです。2つ目は、自分の英語力に合う大学だったからです。
交友関係
校内の学生と仲良くなるだけでなく、地元のご高齢の方や働いている方との交流もあった。
困ったこと、大変だったこと
大変だったことは、生活する上で英語でコミュニケーションをとることと、他国の習慣を理解することです。寮のフラットメイトとはほとんど毎日コミュニケーションをとり、勘違いなどからトラブルが起きないように気を付けていました。しかし、寮内で予期しないことが起きることもあり、その対処が大変でした。
学習内容・勉強について
私は学部を問わずに興味のある授業を取っていました。特に面白かったのは、英語のコミュニケーションに関する授業です。イギリス人の特性やイギリス文化、方言について学べるため、異文化理解を深めたい人におすすめです。授業中に内容が全く理解できないということがないように、授業の予習・復習は必ず行っていました。
課題・試験について
私が受講していた授業では、論文をいくつか読むという課題が毎週出されていました。また、最終課題としてエッセイを書くことも多かったです。試験に関しては、選択式の問題が出題されるテストや、制限時間内に指定字数以内で答えを書くテストがありました。
留学を通しての感想（留学を希望する人へアドバイス等あれば）
留学は、日本でできないことを日常的に体験できる貴重な機会です。留学に行くまでの準備は長い道のりかもしれませんが、留学に行ってしまうと、新鮮さに満ちた、充実した生活が待っています。だから、留学をしたいという気持ちを大切に、準備期間でできることには最大限取り組んで、後悔の少ない留学生活を送ってください！

11. 卒業後の進路について

卒業後の進路について			
進路			
<input checked="" type="checkbox"/> 就職	<input type="checkbox"/> 進学	<input type="checkbox"/> 未定	<input type="checkbox"/> その他：
いつ頃から就職活動を行いますか？			
2023年の夏			
就職活動に関して、留学希望者に何かアドバイスがあればご記入ください。			
就職活動において留学経験をアピールしたい場合は、留学期間で熱心に取り組んだことがあると良いと思います。			

11. 履修した科目について（スペースが足りない場合は各自コピーして追加してください。）

履修した授業科目名			
Introduction to Psychology			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	School of Psychology		
単位数	10 credit		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	レクチャー		
授業時間数	10時間		
担当教授	Mrs. Elizabeth Travis Mrs. Anita Balcer-Whittle		
授業内容	心理学とは何か？/進化心理学/精神の健康と病気/発達心理学/神経心理学/運動生理学		
試験・課題など	オンラインでの選択式問題の試験		
感想など	心理学の基礎を学べる授業なので、初めて心理学を学ぶ人は受講するべき授業です。		

履修した授業科目名			
English for Communication			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	School of Languages, cultures and societies		
単位数	20 credit		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	セミナー		
授業時間数	27時間		
担当教授	Jane Kay先生		
授業内容	イギリスの生活や文化への理解を深める/地域のアクセントや言語使用の変化を知る		
試験・課題など	ポスタープレゼンテーション		
感想など	イギリスの文化や生活、言語の違いを知ることが出来、とても興味深い内容だった。		

履修した授業科目名			
Japanese Development Assistance in a Globalising World			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	School of Languages, cultures and societies		
単位数	20 credit		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	レクチャー、セミナー		
授業時間数	20時間		
担当教授	Dr Kweku Ampiah		
授業内容	日本の ODA の起源と発展/東アジアに対する日本の ODA の影響/アフリカに対する日本の開発援助の動向		
試験・課題など	エッセイの作成/記述式のオンライン試験		
感想など	教授が親切で、わからない所がないか聞いてくれるので、沢山質問ができ、授業への理解が深まりました。日本の開発援助を海外の視点で捉えることができ、とても面白かったです。		

履修した授業科目名			
Forensic Psychology			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	School of Psychology		
単位数	10 credit		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	レクチャー		
授業時間数	10時間		
担当教授	Dr Ed Sutherland		
授業内容	刑事司法制度全体における心理学の役割		
試験・課題など	オンラインでの選択式問題の試験		
感想など	犯罪の目撃者の心理状況や犯罪者が育った家庭環境など、法学と結びつく内容を学べて、より興味が湧きました。		

履修した授業科目名			
Evolution and Human Behaviour			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	School of Psychology		
単位数	10 credit		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	オンラインレクチャー		
授業時間数	11時間		
担当教授	Dr Colin Hendrie		
授業内容	人類の進化経路/ 人類の普遍的な特徴と文化的差異/人間の紛争 - 暴力と戦争/精神疾患の進化論		
試験・課題など	オンラインでの選択式問題の試験		
感想など	進化論や人類が利他主義であることなど、人間の性質や進化の過程を詳しく学ぶのは初めてでした。人類の進化を心理学の視点から学ぶのは面白かったです。		

履修した授業科目名			
Children's Rights and Social Justice			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	School of Education		
単位数	20 credit		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	レクチャー、セミナー		
授業時間数	28時間		
担当教授	Dr Peter Hart Dr Helen Latke		
授業内容	UNCRC の紹介/人権と子どもの権利に関する国際協定の策定における課題を探る。		
試験・課題など	エッセイの作成		
感想など	子どもの権利について、国連子どもの権利条約を用いて理解を深めるとともに、3つの主な権利の関係性について深く考えることができました。		

履修した授業科目名			
Talking About Pop Music: Discourse and Debates in Popular Music			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	School of Music		
単位数	20 credit		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	レクチャー、セミナー		
授業時間数	20時間		
担当教授	Dr Stan Erraught		
授業内容	報道機関と学術界の両方でポピュラー音楽について執筆した歴史/特定の形式のポピュラー音楽が理解され、反映される方法に対する人種、性別、階級の影響		
試験・課題など	エッセイの作成		
感想など	ポピュラー音楽が学術誌やメディアでどのように評価されてきたか、その歴史を詳しく知ることができました。音楽を学問として学ぶのは興味深く、音楽の見方が少し変わりました。		



熊本大学海外派遣留学生 報告書

記入日： 2023 年 8 月 31 日

留学開始時学年	2 年次		
学部/教育部	法学部	学科/専攻	法学科
留学先機関名	リーズ大学	国・地域名	イギリス
留学先所属	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属（ 学部・研究科） <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2022年 9月 20日 ～ 2023年 7月 7日		
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ！留学JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他：		

1. 留学費用（日本円）

授業料（留学先）	0		円
語学研修費	0		円
教材費	0		円
ビザ申請費	約6万		円
渡航費	約20万		円
海外旅行保険料	約15万		円
宿舍費	家賃	約110万円	円
生活費	光熱費	0	円 / 月
	食費	約4万	円 / 月
	通信費	約1700	円 / 月
	交通費	約5千	円 / 月
その他	旅行費	約30万	円
その他	(費)		円
その他	(費)		円
合計	約240万		円

2. 渡航前準備について

留学に向けて取り組んだ語学	
言語	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他： 語
受験した語学能力試験	<input checked="" type="checkbox"/> IELTS <input type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input type="checkbox"/> その他：
勉強方法	<p>・まず、Reading、Listeningは自分で勉強の方が効率が良かったため、グローバル教育カレッジ棟で参考書などを借りて自分で勉強した。・Speaking、Writing に関しては、大学主催のIELTS講座でネイティブの先生に指導を受けた。そこで友達になった留学を目指すメンバーと講座後もスピーキングの練習をしたり、お昼の時間に、「イングリッシュ・トークモン」などのフリートークセッションに参加するなどした。・他にも熊本大学に来ていた留学生と友達になり、一緒に勉強や遊び、旅行など多くの時間を過ごすことで、日本にいながら留学のような体験をして、これは留学に対して大きな自信に繋がった。</p>
留学先の手続き	
必要書類	<input checked="" type="checkbox"/> 語学能力証明書（ 英 語） <input type="checkbox"/> 健康診断書 <input type="checkbox"/> パスポートの写し <input checked="" type="checkbox"/> その他：ビザ申請申込書(CAS)
大変だったこと、どのように取り組んだか等	<p>・ビザの申請は必要な書類や手順なども多く大変で、一緒に留学する友達と協力しながら進めた。・もう一つ、これはとてもレアケースだが、自分は寮のデポジットを払い忘れていて、その事実が渡航前2週間前に発覚した。それから現地の不動産約10社とメールでやり取りしたが、空きが無く、熊本大学に留学生として来ていたリーズ大学の友達の家へ約1週間泊めさせて貰った。無事大学の寮の空きが出来て、そこに入寮出来たため、今となってはいい思い出。</p>

3. ビザ・入国時に必要な手続きについて

ビザ申請			
有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	種類	Student visa tier 4
申請先	<input checked="" type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所： 英国ビザ申請センター	手続きに 要した期間	約1か月から2か月
手続きの流れ	①英国ホームページで個人情報等入力、②申請に必要な書類の準備、③申請日(ビザを受け取る日にち)を予約、④英国ビザセンター(東京)に行く、⑤後日、ビザが送られてきて無事取得、⑥イギリスに到着後、BRPカードを郵便局またはリーズ大学で受け取る		
必要書類	<input type="checkbox"/> 入学証明書 <input type="checkbox"/> 残高証明書 (金額：) <input type="checkbox"/> 保険証 <input checked="" type="checkbox"/> パスポート <input checked="" type="checkbox"/> 語学能力証明書 <input checked="" type="checkbox"/> その他：CAS		
ビザ申請以外で入国時に必要な手続き			
ビザ発給時にNHSというイギリスの保険制度に加入した			

4. 渡航関連

利用航空会社	経由地	
往路：ANA 復路：ANA	往路： 復路：	
手配 (利用したサイト、旅行会社等)	旅程	
ANA	出発日時	9月 20日
	到着日時	7月 8日

5. 住居について

住居について			
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他：	部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 1人部屋 <input type="checkbox"/> 相部屋 (人) <input type="checkbox"/> その他：
同居人	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの学生	住居手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で <input type="checkbox"/> その他：
住居の申込 手順・方法	上で述べたように、本来はリーズ大学が提供する格安のシェアハウスに住むはずだったが、デポジットが払えていなく、後になって、リーズ大学から連絡が来て、空きが出た寮に住むことになった。		
住居に関する アドバイス (寮の雰囲気、トラブル および解決方法等)	・自分のフラットは6人中4人がイギリス人で、1人がインド人で、全員アクセントがものすごく、最初は聞き取るのが大変だったが、だんだんと慣れていった。・イギリスのキッチンの流しや、シャワーの排水溝はよく詰まるので、定期的に寮のオフィスに連絡して、治してもらっていた。・また自分のフラットメイトはイギリスの一年生で最初の方は毎晩パーティーを開いて正直なところ迷惑で、寮の変更を半年ぐらいしてから希望したが、希望が多く自分は変更できなかった。寮を変更したい場合は早めに申し込むことをお勧めする。		
大学への交通手段	<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他：	通学時間	0時間 10 分

7. 留学先機関について

履修登録	
時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 (7 月頃) <input type="checkbox"/> 渡航後 (月頃)
方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> 志願書類の提出 <input type="checkbox"/> その他:
留学生特例措置 (有りの場合、詳細をご記入ください)	
履修制限	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り ()
優先措置	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り ()
オリエンテーション (留学生専用)	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り (日本人の先生が日本の留学生向けに一度オリエンテーションが行
チューター制度	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り (自分含め使わない人もいた)
その他	
留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/住居・日常生活等)	
<p>・語学面では、Language Exchangeというシステムがあり、自分が相手から英語を教えてもらい、自分が相手に日本語を教えるというwin-winな関係を作れて、人によって、語学だけの学習パートナーとして活用する人もいれば、そこから友達になる人もいます。・毎週月曜日にはグローバルカフェが開かれ、色々な国の友達との交流が出来る、途中参加、退出自由で気軽に参加できるのでオススメ。</p>	
留学開始後に行った留学先大学の手続き	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生証発行 <input checked="" type="checkbox"/> 履修登録(前期の授業の変更や後期の授業) <input checked="" type="checkbox"/> 大学IDの設定 <input type="checkbox"/> その他	
手続きの手順	
<p>学生証は、リーズ大学の学生用ホームページのminervaで学生登録をした後、BRPカードを持って、International Student Officeで学生証を発行してもらう。</p>	
大学・学生の雰囲気	
<p>とてもインターナショナルな大学で、色々な国から学生が集まっています、アジア人を理由に差別されるといったこともない。毎週にかしらのイベントが行われているため、友達作りには困らない。</p>	
授業外活動について (サークル、部活、インターン、フィールドワーク等) ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に	
<p>・サークル、部活は、沢山存在している。自分は熊本大学でサッカー部に所属していたこともあり、リーズ大学のサッカー部に入るか検討していたが、入部のためのトライアルがあったり、活動日も多く留学中にやりたいことも色々あったので入らなかった。その代わりに、Casual Kickaboutというフットサルサークルに入り、自分の好きなタイミングで参加していた。・他にも、East Asian Research Society (EARS) というサークルに所属し、週一回のバブソーシャル(バブに行って喋る)や、言語交流、カラオケ、ハロウィンパーティーに参加したり、EARSのサッカーチームに入って、大会(大学主催のソサイチのようなもの)に参加した(優勝した)。・サークルのメンバーにならなくても基本的になんでも参加できるので、Japanese Societyで日本のことが好きな学生と友達になったり、Film Society に行って映画を観たりしていた。</p>	

8. 留学に関するタイムチャート (留学するまでの準備)

2020年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	
2021年 1月～3月	
4月～6月	入学、留学に関する説明会に参加
7月～9月	大学主催のIELTS講座受講
10月～12月	IELTS受験
2022年 1月～3月	
4月～6月	ビザ申請
7月～9月	イギリスへ
10月～12月	
2023年 1月～3月	
4月～6月	ロンドンキャリアフォーラムに参加
7月～9月	帰国
10月～12月	熊本大学の授業に復帰

9. 1週間のスケジュールについて (授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
午前	図書館	授業	授業			土日は、ハイキングに行ったり、リーズ周辺の町に日帰りで出かけたりした。	
	図書館	授業	授業	授業	授業		
午後		図書館	フットサル	授業			
		図書館		授業			
夕刻	グローバルカフェ						
夜	Japanese Society			EARS	Fruity		

10. 留学成果とアドバイス

留学しようと決めた理由
語学力向上はもちろん、社会に出る前に、日本以外の世界を知っておきたかった。海外旅行などとは違い、1年間滞在することでその土地の文化や慣習を理解できるようになると考えた。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備
・留学前に、積極的に熊本大学で、留学生と交流したのは大きな財産、アドバンテージになったと思う。自信をつけた状態でイギリスに行って、良いスタートダッシュが切れたということはもちろん、ヨーロッパで留学生と再会出来たことも大事な思い出になった。・一方で、英語の勉強は正直足りなかった。Reading とWriting は、留学中ではあまり伸びなかったという自分の経験則と、留学中に出された大量のリーディング課題とエッセイの負担を少しでも減らすために、事前にしっかりやるべき。Speaking とListeningに関しては、この二つが出来ないと最初の教授とのコミュニケーションや友達作りで苦戦する。英語の勉強でやりすぎるといいことはない。
留学先を選んだ理由
個人的にイギリスの音楽や、自然、風景が好きで、一度はイギリスで生活したいと思っていた。実際にライブ（U2のボノの息子のバンド）をマンチェスターに観に行っただが、観客の盛り上がりもすさまじく、そこで音楽好きの友達も出来た。週末は友達と一緒にイギリスの国立公園やナショナルトラストにハイキングしに行き、現地の人と交流したり、現地(イギリス)でしかできないことがある。
交友関係
留学生が多いこともあり、既に出来ているコミュニティに無理に入るようなこともほとんどなく、友達は作りやすいと感じた。クリスマスやイースター休みには、友人宅に招待されて、イギリス人の生活に触れることが出来た。授業でも、グループ活動が多いため、友達も作りやすい。他にも旅先で知り合った友人の中には今度日本に来る友達もいて、留学後も関係が続く友達も多い。特にドイツ人は、友達が友達を呼んで、友達の輪を広げることが文化としてあるらしく、ドイツ、オーストリアへの旅行で多くの友達が出来た。
困ったこと、大変だったこと
・イギリスはストライキが多く、バスや電車が運行しなくなったり、ルートが変更になるのはしょっちゅうだった。教授もストライキで授業を中止にすることも多々あり、朝のメールチェックはマストだった。・電車の遅延は日常茶飯事で、ロンドンのキングスクロス駅でさえ、自分の場合、6回中5回は遅延した。
学習内容・勉強について
特定の学部には所属しなかったため、経済学や環境人類学、社会学など幅広い授業を受けることが出来、とても面白かった。平日は授業後に友達と夜中まで図書館にこもって勉強したりすることもあり、学習面は充実していたと思う。
課題・試験について
課題、試験は、履修する授業によって異なり、プレゼンや、グループ発表、エッセイなど様々である。個人的に、プレゼンは発表後に質疑応答などの時間があり、英語力が求められ、グループ発表はネイティブの生徒と一緒に一つの物を作り上げるため、どうしても貢献度が低くなり、他の生徒と同じ評価を受けることに若干のためらいがあるが、適度な緊張感があり、振り返ってみれば、よかったと思う。
留学を通しての感想（留学を希望する人へアドバイス等あれば）
留学で得たメリットは大きく分けて二つ。・一つは、「コミュニケーションに対する積極性」がついたこと。普段の生活でも、初対面の人と会うことが多く、かつ約10か月という限られた時間の中で交流を深めるためには、相手に自分と話すことが面白いと早い段階で思ってもらわなければならないと思った。そのため、自分は拙い英語ではあるが、常に面白い（Interesting）話をしようと色々考えていたと思う。旅行も、電車やバスはしょっちゅう遅延し、バス停の場所が工事で変わっていたり、全てが予定通りに行くことはほぼない。空港までの電車が途中で止まり、乗り合わせていた人たちとタクシーをシェアすることもあり、毎回、とにかく周りの人に聞いて、目的地に向かった。特に一人旅は、1人であるため、周りの人も話しかけやすいのだと思うが、現地の人や観光客を案内してくれたり、駅まで車にのっけてくれたり、積極的に会話しなければいけないシチュエーションばかりだった。ちなみに海外での一人旅は学ぶことが多いとおすすめ。・二つ目は、「色々な国の友達が出来ること」。これは単純に、世界中に友達がいることがすごいことな気がして嬉しい。実際に、ドイツ人やイギリス人の友達の家にはお邪魔させてもらい、現地の食事や生活を体験することが出来た。今後も引き続き、ヨーロッパに行く際には泊めさせて貰う予定。・最後に、留学した自分が言うのもなんだが、留学がすべてではないと思う。目的によって、留学するかしないかは決めるべきだと思う。語学力向上や、国際的な人との交流は日本でも出来る。ただ、その国の文化を肌で感じたいだったり、その国でやりたいことがある(なんでもいいと思う、重要なことである必要はない)、また日本語が通じない環境で、自分がどこまでできるか試してみたいなど思うところがあれば、ぜひ留学するべきだと思う。自分は留学してほんとに良かったと思う。

11. 卒業後の進路について

卒業後の進路について			
進路			
<input checked="" type="checkbox"/> 就職	<input type="checkbox"/> 進学	<input type="checkbox"/> 未定	<input type="checkbox"/> その他：
いつ頃から就職活動を行いますか？			
現在進行形			
就職活動に関して、留学希望者に何かアドバイスがあればご記入ください。			
自己分析などは早めにはじめて損はないと思う			

11. 履修した科目について（スペースが足りない場合は各自コピーして追加してください。）

履修した授業科目名			
English for communication			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	English Language		
単位数	20		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： 2 ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	18		
担当教授	Jane Kay		
授業内容	イギリス英語やイギリスの詩などイギリス全般の文化を学習した。グループ活動では、具体的にイングランドのヨークシャー地域の英語のアクセントやその地域にしかない言葉などを現地の人にインタビューしながら調べた。また個人の活動として、現地のイギリス人30人以上にインタビューして、その集計を基にプレゼンを行った。自分はイギリス人の音楽の好み、またイギリスにおける音楽の持つ影響などを調べた。		
試験・課題など	2回のプレゼンテーション		
感想など	イギリスの文化や言語を学ぶいい機会になった。		

履修した授業科目名			
Introduction to Economics			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	LifeLong Learning Center		
単位数	20		
単位互換	<input checked="" type="checkbox"/> 申請（単位数： 2 ） <input type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	14		
担当教授	Dr George Zifkos		
授業内容	ミクロ経済学(需要、供給、市場均衡、需要の価格と所得の弾力性、完全市場の失敗、不完全市場の弊害)、マクロ経済学(GDP、GNPの計算等、労働市場の分析、金融政策、財政政策)の基本を学習した。		
試験・課題など	最終課題として、基本的な計算問題と語句を問う問題、グループ課題として、イギリス政府の内部の人間として、どのような対策を取るかなど、現在のイギリスの経済、雇用問題を考慮して発表した。		
感想など	内容は難しかったが、教授もフレンドリーで色々助けてもらった。		

履修した授業科目名			
Topics in Contemporary Asia Pacific Societies			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	East Asian Studies		
単位数	20		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	14		
担当教授	Dr Clare Richardson		
授業内容	アジアが抱える諸問題について導入を授業で学び、自分が決めたトピックを深めていく授業スタイル。		
試験・課題など	4000字のエッセイ		
感想など	身近な問題でも、イギリスからの視点で物事をみるのはまた違って面白かった。		

履修した授業科目名			
Global Entrepreneurship			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Business School		
単位数	20		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	22		
担当教授	Dr Christis Antoniou		
授業内容	ている企業を事例に、研究した。多様な国籍からなる様々な人材がいる職場環境でのマネジメントや、そこで生じる問題なども扱った。		
試験・課題など	3000字のエッセイ		
感想など	受講している生徒が積極的で、圧倒されたと同時に、学習に対する基準を見せてもらった。		

履修した授業科目名			
Intercultural Competence: Theory and Applicaton			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	School of Languages, Cultures and Societies		
単位数	20		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	20		
担当教授	Dr Pier Pischedda		
授業内容	ホフステードの5次元モデルなどを軸に、異文化の理解、またマルチリンガルを例に言語が持つ力や影響を考えた。また様々なメディアやCMなどで使われる多言語の持つイメージなども勉強した。		
試験・課題など	3000字のエッセイと、1500字のエッセイ		
感想など	非常に理解しやすく、面白かった。		

履修した授業科目名			
Global Environmental Humanities			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	School of Languages, Cultures and Societies		
単位数	20		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	46		
担当教授	Dr David Pattinson		
授業内容	環境破壊の現状とそれに対する対応策について色々なケースを見ながら学習する授業。 中国の北京で進む不法投棄に伴う河川汚染について文献、ドキュメンタリーを使って学び、また南アメリカの電子廃棄物を材料に活動するアーティストや、タイの仏教観が貢献する自然再生への動き、またドイツベルリンで進む気候フィクションと呼ばれる新しいジャンルの本や映画を例に取り、世界全体でどのような対応を取れるかについて考えた。		
試験・課題など	3000字のエッセイと、4500字のエッセイ		
感想など	通年でオムニバスの授業で、この授業が一番印象に残っている。生徒の意欲も高く、グループ活動もレベルが高かった。		

写真			
			
			